

# PEACE GOURD



9条の会・養老  
会報、第18号  
2019年5月28日  
(部内資料)

”ピース・ガード” 「平和の瓢箪」

## ”西濃憲法集会2019”に行ってきました。

世話人 問山尚義

前回の会報でも案内させていただきました「西濃憲法集会2019」に参加して来ました。憲法記念日の5月3日、大垣市情報工房スィンクホールで開催され、長期の連休中のせいか、最初は少し寂しいなど思う状況でしたが、それでも後から遅れてくる人などもあって、最終的には200人近くになったようです。

### □寝耳に水の「シール投票」の報告

開場前にスタッフの方から、養老でのシール投票の結果を報告してほしいと依頼があり、寝耳に水でしたが、集会の冒頭に、他の9条の会の皆さんと一緒にシール投票の報告をすることになりました。

### □「ようこそ先輩」のOGから沖縄レポート

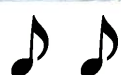
一部では「ようこそ先輩」のOGである、小田奏(かなで)さんからの沖縄レポートでした。奏さんは各務原市出身で沖縄芸術大学で声楽を勉強中とのこと、まさに名は体をあらわす。三線(サンシ)の弾き語りも披露されました。



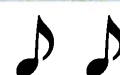
### □荻野富士夫氏(小樽商科大学名誉教授)の講演から

荻野先生が在職されていた小樽商科大学は、政府からの運営資金が年間約27億円、国立大学でも最低ランクとのこと。「文系は要らない」という政府のサインでしょうか？小樽商科大学は小林多喜二も学んだ学校として有名ですが、荻野先生も多喜二研究で著名な方です。

先生の講演で印象に残ったのは、戦前の民主主義とは無縁の世にあっても、政府は戦争継続のために民意の動向に神経を尖らせていたこと、軍需生産に駆り出された成人男性より「銃後」の主婦層のほうが戦意が旺盛であった事でした。最後に先生は「闇」の先にこそ「光」があるという多喜二の言葉を引いて、講演を結んでおられました。



戦後は続くよ どこまでも



# 「9条改憲NO！3000万署名」

## 今年も養老公園で行いました。

桜が満開の養老公園で4月6日（土）10時より約1時間半、会員5人で取り組み、署名は27筆、チラシは約50枚配布しました。

署名の数は昨年より少なくなっていますが、何人かの子育て世代の若いお父さんやお母さんが快く署名してくれたのがすごく励みになりました。青空に桜もきれいでした。



## 4回目の「憲法9条を守る」or「変える」

### のシール投票

今年で4回目になった「憲法9条を守る」or「変える」のシール投票、去る4月26日に例年どおり鳥江駅にて下校時の大垣養老高校の生徒を中心に会員7人の参加で行いました。

59人が投票してくれて「守る」が47人で80%でした。心強い限りです。でも「あ～いいです。」とか言って通り過ぎていく人が一番多かったのが残念です。日本が戦争できる国になってしまったら自分だけは「あ～いいです。」では済まないのだけど・・・

3年前は安保法が国会で強行されて間もなく、「シールズ」などの若い人達や多くの一般市民の運動がマスコミでも大きく報道されて高校生の関心も高かったが今は・・・



実施年	投票総数	9条を守る		分からない		9条を変える	
2016年	176	121	69%	54	30%	1	1%
2017年	126	64	64%	62	49%	0	
2018年	51	31	61%	18	35%	2	4%
2019年	59	47	80%	12	20%	0	

世話人 中野一美



## 大垣別院・春の法要《平和展》を開催しました！

報告：佐竹 哲（世話人）

例年四月、真宗大谷派大垣別院では「春の法要」が厳修されます。その期間中には戦争犠牲者追弔法要のお勤めがあり、それに併せて本堂内では「平和展」（非戦平和を学ぶパネル展示）を開催しております。私はそのスタッフとして毎年、製作運営しておりますので、その趣旨及び展示の一部を紹介させていただきます。

今年のテーマは「殺さしめてはならぬ」と題して開催致しました。この言葉はお釈迦様の大切な教えのお言葉です。

「すべての者は暴力におびえる。すべての生きものにとって生命は愛しい。

己が身にひきくらべて、殺してはならぬ。殺さしめてはならぬ。』『法句経』

私たちは生命を「殺す」ことには罪悪感をいただきますが、生命を他者に「殺さしめる」ことには「殺す」ことほどの罪悪感がないように思います。自分が直接、手を掛けなければ「私が殺したのではない。殺したのはあいつだ。」と弁解をします。

2014年、政府は、閣議決定でそれまでの「武器輸出三原則」をなくし、武器や軍事技術を海外に輸出できる「防衛装備移転三原則」に変えました。つまり、従来は憲法九条の精神に基づいて武器輸出は控えていましたが、成長戦略のひとつとして積極的に海外に武器を製造販売することを解禁したのです。「我が国は武器を売っただけだ。その武器を使ったのは他国であって、我が国に罪はない。」という考え方が背後にあるのではないのでしょうか。

また、日本の大学は戦後、軍事研究との間に一線を引いてきました。しかし、2015年、防衛省は大学などを対象に「安全保障技術研究推進制度」という研究費制度を始めました。対象テーマは将来的に自衛隊の装備に活用できる技術の基礎研究で、1件あたり年に最大3千万円、3年で最大9千万円が支給されることになりました。現在では五年間に最大20億円まで支給するように制度が拡大されました。「うちの大学は国の制度に従い、軍事技術を研究している。その技術を軍事使用するのは防衛省だから、大学側に罪はない。」と正当化する声の一部が聞こえるようです。

上述のように近年、日本社会は、直接に「殺す」行為はしませんが、巧みに「殺さしめる」行為を増やしているように思います。お釈迦様の説かれる不殺生の教えによるならば、「殺す」と「殺さしめる」は同じ罪であります。私たち国民や政治家たちは「殺さしめる」という行為を罪と感じていないのではないかと思います。よって「殺さしめる」をテーマとし、その具体的な事例を展示することにしました。結果的に文書資料の展示が多く、面白味に欠けるものとなり反省をしておりますが、このような現実を知っていただきたいと願ったのであります。来年は見て解りやすく、興味深い平和展にしたいと思っております。ご縁があれば来年は、ご参拝下さい。

※右の写真は、現在も工事が進められている沖縄・辺野古新基地です。県民の反対が多数にもかかわらず、工事は強行されています。本土に住む私たちが無関心でいるならば、私たちが沖縄を「殺さしめる」こととなります。写真は『沖縄タイムス』



## ◆◆◆◆今後の活動予定◆◆◆◆

★6月1日(土) 午後1時半より、「水道民営化を考えるシンポジウム」  
場所：ぎふメディアコスモス・みんなのホール  
主催：命の水を考える会ぎふ

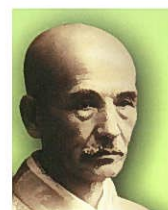
★6月2日(日) 午後2時より、「もの言う」自由を守る会総会3周年  
場所：スイトピアセンター学習館6F-1  
主催：「もの言う」自由を守る会

★6月9日(日) 午前10時より、「岐阜県母親大会」  
場所：パロー文化ホール(多治見市文化会館)  
主催：第62回岐阜県母親大会実行委員会

★6月17日(月) 午後7時半より、「キリスト教会6月信徒会」  
場所：日本キリスト教会大垣教会(大垣城西、裁判所南)  
講演：「キリスト者と平和活動」/9条の会・各務原代表：伊藤利明氏

会員の堀江さん(橋爪)から案内(別紙)をいただきました。

★6月21日(金) 午後1時半より「喫茶 ピース・ガード」(3回目)  
場所：小畑公民館会議室  
内容：「反戦僧侶、竹中彰元師をしのぶ」  
垂井町の僧侶、竹中彰元師の業績をたどりながら仏教と戦争とのかかわりを考えるつどい  
主催：9条の会・養老/報告者：佐竹哲(世話人)



「戦争は罪悪である」

### 編集後記

#### カンパへの御協力 ありがとうございました

3月の会報17号でカンパを呼びかけたところ本誌発行時点で6件、合計26,000円のカンパが寄せられました。御協力ありがとうございました。おかげさまで本会も息継ぎが出来る状態になり、昨年のバスツアーのような企画も、少し安心して打てるようになりました。今後も企画への参加やご支援を宜しくお願いします。

1 ページ目の「西濃憲法集会」で荻野先生が引用された小林多喜二の言葉が、紙面の都合で端折ってしまったので、改めて正確に紹介したいと思います。

多喜二が薄幸の女性田口タキに向かって「闇があるからこそ光がある。そして闇から出てきた人こそ、一番光の有り難さが分かるんだ」と語ったといひます。「苦しみを突き抜け歓喜へ！」ベートーベンの第9交響曲の主題を連想させます。

世話人 問山尚義



”ケリ” (下池にて)

### 連絡先

「9条の会・養老」世話人  
090-9183-0444 中野一美(代表)  
090-9894-0444 佐竹 哲  
090-2348-0719 問山尚義  
090-8733-0090 禿 憲正  
fax(問山)  
0584-71-8746  
E-mail(問山)  
toiyama@ninus.ocn.ne.jp